

# いたやなぎ 町議会だより

 **創刊号**  
2014年5月9日発行  
青森県板柳町議会

私たち町議会は町民のみなさんからのご意見  
ご要望を行政に反映させ、安心して暮らせる板柳  
のまちづくりのために、今回、議会の様子をわか  
りやすくお伝えし、町民の参画を強めてもらおう  
と発刊に至りました。

よりいっそう町民の負託に応えられる「いたや  
なぎ町議会だより」にするため努めてまいります。

板柳町議会 議長 安田 弘

4人が一般質問 P2  
おらほの議員 P8

# 町民の声を町政に

## 第9回定例会一般質問

第9回板柳町議会定例会が、3月6日から14日までの日程で開催され、10日に行われた「一般質問」に、4名の議員が登壇しました。

一般質問は、議員の日常活動と町民の声や議員自身の考え方をもとに町長や教育長などの方針を問うものです。板柳町議会では、1人60分の制限時間があります。議会だよりは、スペースの都合上、質問と答弁が要約してありますので、臨場感ある本会議場での傍聴をお待ちしています。

### 減反政策



葛西 清人 議員

【葛西議員】  
政府の減反政策の廃止に伴い、指導機関の説明もままならない状況の中で、減反協力農家に対する農業所得の安定化をどのように指導構築していくのか伺いたい。

【館岡町長】  
米づくりで生計を立てるためには規模拡大をすることが現実的であり町としても大規模農家や宮農集団への農地の集積を推進する必要があると考えている。国では現行の経営所得安定対策にもある畑作物への交付金や水田活用交付金、さらには産地交付金については内容を強化して将来的にも継続する方針である。当町でもこれまで町独自で大豆、野菜、リンゴなど果樹への転作補助金を交付しているの、小規模農家にあつては大豆、飼料用米、備蓄米、果樹などの戦略作物を作付けし、これら交付金を最大限に活かしながら農業所得の安定化を目指してほしい。

【葛西議員】  
小規模農家の方々が規模拡大に協力するには、農業以外で収入を得る雇用の場の創出が必要になる。その

ような場を農振法、都市計画法なども絡めて施策に反映させてほしい。

【館岡町長】  
大規模移行あるいは小規模農家、農地の貸付け農家、その所得の安定化については、町は常にしっかりと状況を把握しながら、町農家の所得向上に資するように推進したい。

### リンゴの海外輸出

【葛西議員】  
りんごの里日本一をめざす町として、リンゴの消費拡大を狙うため、海外へのリンゴ輸出のプロセスを、町長がりんごワーク研究所で開拓した販売ネットワークを使って、行政的に推進していく考えはないか伺いたい。

【館岡町長】  
リンゴの輸出には、散布農薬の残留基準や害虫の検疫から、特定の選果場を備えることが条件になっているので、生産者が個人的に輸出事業に参画するには非常に困難な環境になっている。町はリンゴ輸出で最も重要な役割を担う生産者に対し、農薬基準の遵守、適切な選果の実施、品質管理についての危機意識の保持などの啓発活動に取り組みとともに、りんごワーク研究所をはじめ、農協とも連携しながら海外輸出に努力していきたい。

【葛西議員】  
リンゴ生産者に対し、リンゴの消費拡大を輸出に求めることは容易でないことや将来的に輸出への展望が

開ける方策などを説明する機会を増やしてほしい。

【館岡町長】  
いろいろな機会をとらえ、リンゴの海外輸出の状況等を農家の皆さんに説明し、リンゴ輸出について理解が得られるようにしたい。

### 現況に即しない地目

【葛西議員】  
国土調査によって、境界・面積・所有権・地目などの問題が解決された。その調査から三十五年以上経過し、現況に即しない地目の問題などが始めてきたため、税の不公平が生じている。このことの対処方法をどのように考えているのか伺いたい。

【館岡町長】  
固定資産税の課税は登記地目にかかわらず現況で評価し課税している。現況把握は、担当職員巡回による現況調査、航空写真なども用いて適正な事務に努めている。また、現況と合致しない土地は、その地目を現況に合うよう所有者に指導している。平成二十六年には農業振興地域計画策定を行うが、しっかりと調査を行い、現況に合っていない土地は現況に見直したい。

【葛西議員】  
平成二十六年で農業振興地域計画の策定を行うようであるが、板柳町の人口減少に少しでも歯止めがかかればならないと思う。



三戸 玲子 議員

## 板柳町民の所得

【三戸議員】

所得が高くなると学力がアップすることが報告されている。板柳町民の所得はどれ位か伺いたい。

【館岡町長】

平成二十二年度の青森県の所得推計では、わが町の一人あたりの町民所得は、百八十七万八千円、県内三十番目である。

## 土曜授業の実施

【三戸議員】

青森県内で最初に土曜授業を実施することになった理由について伺いたい。

【中谷教育長】

国が省令を改正したことにより、教育委員会の判断で土曜授業の実施が可能になった。これを主体的に取り組むことで、時間を生み出すことができる。先生と子供たちが向き合う時間に、保護者や地域の方々が学校での子供たちの様子を見る機会に、子供たちが板柳の町の産業や文化を知る時間に、子供たちが保護者や地域の方々と一緒に取って取り組む学校行事の開催に充てる時間にしてほ

しいとの願いから板柳町教育委員会は実施に踏み切った。

【三戸議員】

土曜授業の実施には、私も拍手を送る一人である。土曜授業の実施で現場の先生方の負担が増えると思うので、夏休み冬休みには退職された町在住の先生方に協力を要請したらどうか。また、土曜授業実施に伴う予算はどの位か。そして対外的な活動にあつてはどのような支障が出てくるのか伺いたい。

【中谷教育長】

それぞれの地域で行われている実践を見ながら、板柳町ではどのような形で実施できれば良いのか、学校とともに相談しながら取り組みたい。児童生徒の学習をサポートする上での必要経費等は今試算している。対外的活動は、西北五教育事務所が作成している行事表とを照らし合わせ、整理している段階である。

## 学力テストの状況

【三戸議員】

わが町の小中学校の学力テストの状況について伺いたい。

【中谷教育長】

国の全国学力・学習調査は中学校三年生と小学校六年生を対象に行われ、県の学力・学習調査は中学校二年生と小学校五年生を対象に行われている。また、わが町の学力検査は小中学校ともに全学年を対象に、中学校は一年生だけは英語を除く国語、社会、数学、理科の四教科、二年生、三年生は五教科、小学校は一年生、二年生は国語と算数の二教科、三年

生から六年生までは国語、算数、理科、社会の四教科で行った。平成二十五年度のその結果は、中学校では数学で一つの学年だけが全国平均を下回ったが、そのほかは全国平均を上回った。小学校では国語で二つの学年、社会で二つの学年が全国平均を下回ったが、そのほかは全国平均を上回った。

## 要保護・準要保護の状況

【三戸議員】

経済的理由により、就学が困難な児童生徒に学用品や給食費等を支援する要保護・準要保護のわが町の小中学校児童生徒数について伺いたい。

【関学務課長】

平成二十六年三月一日現在、小学校四校の合計は、要保護八名、準要保護百三十六名、合計で百四十四名。在籍児童数に占める割合は二十一・一％である。また中学校では要保護三名、準要保護九十八名、合計で百二十五・七％である。

## 奨学金の貸付・返済状況

【三戸議員】

町の奨学金の貸付状況と返済状況について伺いたい。

【関学務課長】

貸付状況は、平成二十四年度末現在、九十一名、約六千四百四十五万円。返済状況は、返済猶予期間の方もいるが、八十七名が返済、償還金額は約一千九百九十九万円、うち滞納者は十一名、滞納金額は四百五十七万円である。



今 浩一 議員

## 町のスポーツ活動

【今議員】

現在、板柳町には子供から大人まで幅広く利用している総合型地域スポーツクラブ「りんごの里スポーツクラブ」には、十一種目、約三百人の会員があり、町民の健康づくりに貢献している。このスポーツクラブの運営費は、スポーツ振興くじ助成金と会員の会費である。このスポーツ振興くじ助成金は、平成二十七年で終了するので、このスポーツクラブ存続の町の対策を伺いたい。

【館岡町長】

平成二十三年度から五力年間、助成を受けて活動することを聞いています。平成二十三年度、四百九十八万四千円、平成二十四年度、六百二十八万五千円、平成二十五年、五百十三万五千円、平成二十六年申請額は、二百九十四万四千円です。りんごの里スポーツクラブが町民の皆さんの健康づくりの基盤になるため、これからの発展に大きな期待を寄せられている。町は環境づくりに努めながら側面から必要なものに対し支援を続けたい。

【今議員】

今年度、板柳町民の平均寿命が伸びた要因の一つにスポーツ活動があげられる。町の長期振興計画プラン2020にも子供が気軽にスポーツ文化活動に加わり仲間づくりの仕組みづくりとある。平成二十七年に助成は終了することになるが、この際、町が法人化の支援をできないか伺いたい。

【館岡町長】

今後スポーツ振興については、町で大いに支援したい。スポーツクラブを法人化することについては、法人化の状況や内容、事業計画などを検討して考えたい。

【今議員】

各小学校の児童数が減少し、さまざまなスポーツ競技を行う上で、人数が不足するなど、スポーツ環境が悪化していることから教育長が仲立ちをして、各小学校が一本化にならないか伺いたい。

【教育長】

いろいろ所属する部員が少なくなってきた現在の現状を訴える声が聞かれるようになった。来年度には、町スポーツ少年団との関連もはっきりとりながら、課外活動に参加させている保護者の意向を調査したい。

## 新年度予算

【佐藤議員】

平成二十六年度当初予算の中で、重点事業は何か。また予算編成にあたっての所感について伺いたい。



佐藤 洋治 議員

【館岡町長】

日本一のりんごの里づくりを全体目標として、あずましい板柳、元気な板柳、誇れる板柳の三つの柱を基本目標に各種事務事業に取り組み。あずましい板柳では、子育て支援事業として乳幼児用椅子設置に係るトイレの改修、妊娠・出産・子育てなどの一連の事務事業に関する情報を一元的に発信するためのホームページの改修、子供用衣類・用具などのリユース事業、第二子からの誕生祝金の子宝祝金事業、就学前の乳幼児に係る医療費の全額助成、生活環境づくりの除雪サポートモデル事業などを計画している。元気な板柳では、経営体育成事業、転作団地化育成支援事業、果樹共済加入推進事業、リンゴ赤肉新品種の栽培技術の確立と加工品の開発研究を目標に弘前大学との産官学連携による共同研究事業、鳥獣被害対策事業、三歳おめでとうブック、読書フェスタなどを計画している。誇れる板柳では、道路新設改良工事、拡幅改良事業、公共下水道事業などを計画している。予算編成に当たって、消費税引き上げに伴う必要経費の増額や制度改正及び老朽化に伴う各種電算機器の更新などにより物件費の増額で結果として三億円余りの基金を取り崩した。年々進む町施設の老朽化対応のため、昨

年度公共施設等整備基金に積み立てを行ったが、まだ十分でなく新年度でも財政状況をみて、基金を増やしたい。今後とも歳出の抑制と事業の重点化に取り組みながら行財政基盤の充実強化に努めたい。

【佐藤議員】

今後の町の財政運営に当たっては、民間の経営的感覚を取り入れ行なってほしい。

## 国の米づくりの政策転換

【佐藤議員】

国の農業行政は猫の目のように変わる。今回も大きく転換し減反なくして来年度から米所得補償もなくなる。このことは米づくり農家にとつて、今後どのようにすればよいか本当に迷う。農家が安心して米づくりできるよう将来的な施策を示してほしい。

【館岡町長】

国では、農地集積推進のため経営転換協力金や耕作者集積協力金などの交付金を設定している。町では、大規模農家、生産者集団の育成に向けて、その対応を検討していく。小規模農家は、転作物物に対する国の交付金が継続されるので、町独自の交付金も継続して有望な戦略作物への転換を推進しながら所得の低下を招かないよう努力する。さらに長期的な展望としては、足腰の強い農業を目指した施策も検討する。

【佐藤議員】

米に対して新しい活路を求めてはどうか。板柳の水田農地に排水がよ

く、リンゴ園に適したところが残っていると。改植事業並みの補助金を出して、やる気のある方を募ってはどうか。

【館岡町長】

最近、リンゴ農家の後継者が増えてきた。今後はリンゴ転作にも力を入れたい。

## 町の人口

【佐藤議員】

板柳町の人口が一万五千人を下回ったことに驚いた。近年、急激に人口減少したのではないかと思っっている。ここ一、二年の人口減少はどの位か。また、人口減少が進むといろんなマイナスイメージが出てくるが、将来的な施策について伺いたい。

【館岡町長】

住民基本台帳によれば近年は年間二百人から二百五十人位の減少である。新年度では、定住策として子育て環境整備などの各種事業の実施や人づくり、生活環境の整備を図りながら住みよい環境づくりを推進する。また、今後は人口減少が急激に進行することが予想されるので、既存施設機能の総合的な再配置なども含め規模に合った事業の推進、広域的な観点に立ち、近隣市町村との連携や補完も視野に入れ事務事業を進めたい。

【佐藤議員】

人口増加対策は面倒であると思っが、災害の少ない板柳町に町外から人を呼び込む施策を早めに講じてほしい。

# 一目でわかる審議結果

## 第9回定例会3月提出議案

議案	結果
専決処分の承認（専決第2号）	全員承認
板柳町子宝祝金支給条例の制定	全員可決
板柳町報酬及び費用弁償条例の一部改正	全員可決
板柳町職員の給与に関する条例等の一部改正	全員可決
板柳町職員等旅費に関する条例の一部改正	全員可決
板柳町特別会計条例の一部改正	全員可決
板柳町税条例の一部改正	全員可決
板柳町行政財産使用料徴収条例等の一部改正	全員可決
板柳町社会教育委員に関する条例の一部改正	全員可決
板柳町青少年問題協議会設置条例の一部改正	全員可決
板柳町乳幼児医療費給付条例の一部改正	全員可決
板柳町消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部改正	全員可決
国民健康保険板柳中央病院事業会計資本金の額の減少	全員可決
板柳町水道事業会計資本金の額の減少	全員可決
板柳町公共下水道事業会計資本金の額の減少	全員可決
<b>【平成25年度補正予算】</b>	
板柳町一般会計補正予算（第7号）	全員可決
板柳町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	全員可決
板柳町後期高齢者医療特別会計補正予算（第3号）	全員可決
板柳町介護保険特別会計補正予算（第3号）	全員可決
国民健康保険板柳中央病院事業会計補正予算（第3号）	全員可決
板柳町水道事業会計補正予算（第3号）	全員可決
板柳町公共下水道事業会計補正予算（第3号）	全員可決
<b>【平成26年度予算】</b>	
板柳町一般会計予算	全員可決
板柳町国民健康保険事業特別会計予算	全員可決
板柳町後期高齢者医療特別会計予算	全員可決
板柳町介護保険特別会計予算	全員可決
板柳町農業集落排水事業特別会計予算	全員可決
国民健康保険板柳中央病院事業会計予算	全員可決
板柳町水道事業会計予算	全員可決
板柳町公共下水道事業会計予算	全員可決

# 議会の動き（平成26年1月～3月）

開催日	会議等名	出席議員
<b>【1月】</b>		
1月 8日	町例月出納検査（監査）	安田(久)議員
1月20日	議会運営委員会（2・3月会議等）	北畠委員長、委員
〃	議員全員協議会（2・3月会議等）	安田議長、議員
1月24日	西北津軽郡町議会議長会議	安田議長
<b>【2月】</b>		
2月 5日	町例月出納検査（監査）	安田(久)議員
2月13日	津軽広域連合議会運営委員会	長内議員
2月18日	弘前地区消防事務組合議会運営委員会	今議員
2月19日	県町村議会議長会定期総会	安田議長
2月21日	県後期高齢者医療広域連合議会定例会	安田議長
2月25日	弘前地区環境整備事務組合議会定例会	成田副議長
〃	西北五広域福祉事務組合議会定例会	三戸議員
〃	津軽広域連合議会定例会	長内議員
〃	弘前地区消防事務組合議会定例会	今議員
2月27日	福祉建設文教常任委員会協議会	佐藤委員長、委員
〃	議員全員協議会及び議案説明会（町諸案件等）	安田議長、議員
〃	国民健康保険運営協議会	議員
<b>【3月】</b>		
3月 3日	議会運営委員会（定例会案件）	北畠委員長、委員
3月 5日	町例月出納検査（監査）	安田(久)議員
3月 6日	本会議（定例会日程、町長の提案理由等）	安田議長、議員
3月10日	本会議（一般質問）	安田議長、議員
3月11日	総務産業厚生常任委員会（所管事務調査）	長内委員長、委員
〃	福祉建設文教常任委員会（所管事務調査）	佐藤委員長、委員
3月12日	予算特別委員会（新年度予算審議）	長内委員長、委員
3月13日	予算特別委員会（新年度予算審議）	長内委員長、委員
3月14日	本会議（採決、町議会だより編集特別委員会設置 町議会基本条例制定調査特別委員会設置、閉会）	安田議長、議員
3月25日	議員全員協議会（町諸案件等）	安田議長、議員

# 議会からのお知らせ

今後の議会（第10回定例会）は、次のとおり開催される予定です。

※日程等については変更になる場合があります。  
 なお、議会日程は、議会運営委員会で協議され、定例会初日の本会議で決定されますので、事前に議会事務局までお問い合わせください。

## <議会日程のお知らせ>

月日	内 容	
6月5日(木)	本会議	特別委員会報告、提案理由の説明・報告
6月9日(月)	本会議	一般質問
6月10日(火)	常任委員会	総務産業厚生・福祉建設文教
6月11日(水)	本会議	諸般の報告、質疑・討論・採決

※開会時間は、いずれも午前10時です。

## 町議会を傍聴に来てみませんか！

議会本会議の様子をどなたでも傍聴することができます。

傍聴を希望される場合は、事前手続きは必要ありませんので、町役場4階議場の傍聴席入口へ直接お越しください。

傍聴する際は、傍聴人名簿に住所・氏名・年齢を記入していただくだけで、傍聴席に入場できます。なお、傍聴のできる人数は、51人となっております。

### 議会だよりができるまで

皆さんが手にとつて読んでいる議会だよりは、このように作られています。

①企画会議（議会だより編集特別委員会①）

定例会終了後、一般質問の議事録が作成できた後に、議会だより編集特別委員会を開催し、定例会の一般質問の内容などや議会活動から、議会だよりで伝える内容を話し合います。

②取材

皆さんに伝わる写真を撮影するため、取材に出かけます。

③編集

一般質問の内容の要約や、記事の文章を考え、紙面を作ります。

④校正（議会だより編集特別委員会②）

議会だより編集特別委員会を開催し、編集を終えた原稿を校正します。

委員全員で、見出しや文章表現、写真などをチェックします。

←



⑤印刷

校正した内容や写真の色などをチェックし、修正がなければ印刷会社へ渡します。印刷・製本は印刷会社が行います。

⑥配布

各地域の行政連絡員に届けられ、各家庭に配布されるほか、関係機関等に発送します。

### いたやなぎ町議会だより 編集特別委員会より

議会だよりは、ありのままに伝えるべきだと思いますが、紙面の都合で割愛や要約され、本人の思いのすべてを伝えることができません。

特に一般質問では、文字数の制限があり、発言した議員から趣旨が伝わらないと指摘があるかもしれませんので、町民のみならず、一度生の議会の雰囲気を感じてみませんか。

#### 【発行責任者】

議長 安田 弘

【いたやなぎ町議会だより

#### 編集特別委員会】

委員長 葛西 清人

副委員長 今 浩一

委員 三戸 玲子

委員 長内 良蔵

委員 齊藤直飛人

※第2号発行予定は8月8日頃です。

議会だよりへのご意見・ご感想をお聞かせください。

#### ■板柳町議会事務局

TEL：0172-73-2111

FAX：0172-73-2120

# おらほの議員

氏名(町内)  
①血液型②趣味

## <議長>



おさないりょうぞう  
長内良蔵(五幾形)  
①A型  
②バレーボール(現役)



さとうようじ  
佐藤洋治(柏木)  
①O型  
②釣り



やすだひろし  
安田弘(高増)  
①A型  
②写真



さいとうなおひと  
齋藤直飛人(五林平)  
①O型  
②サーフィン

## <副議長>



なりたはじめ  
成田肇(大蔵町)  
①B型  
②ゲートボール



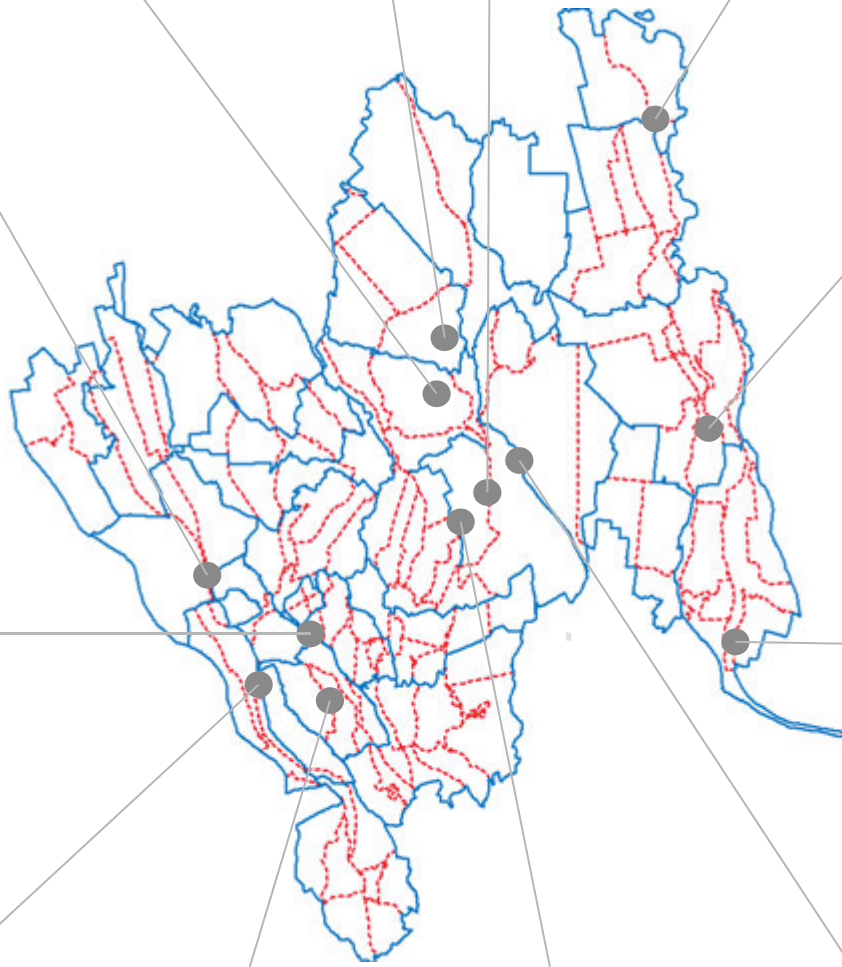
たておかせいいち  
館岡精一(下常海橋)  
①O型  
②釣り



たなかたつお  
田中達男(広栄町)  
①O型  
②温泉浴



きたばたけひろみ  
北畠弘美(館野越)  
①A型  
②スポーツ観戦



こんこういち  
今浩一(博労町)  
①B型  
②バスケットボール



かさいきよんど  
葛西清人(太長)  
①B型  
②登山



さんのへれいこ  
三戸玲子(日新)  
①A型  
②レクリエーションダンス



やすたきゅうごろう  
安田久五郎(高増)  
①A型  
②釣り